

第 15 期中間報告書

2007.4.1 ~ 2007.9.30



株式会社日本一ソフトウェア

目次

企業理念	01
当中間期の取組	02
当中間期に発売したタイトル ..	03
今後の主な取組	04
中長期戦略	06
中間決算のポイント	08
会社概要	12
株主メモ・HPのご案内	13



2008 年 1 月完成予定 (新本社ビルイメージ図)

ゲームは作品ではなく商品である

いつの頃からか、ゲームのことを作品と呼ぶようになりました。

しかし当社グループは常に『商品』としてゲームの開発、販売に携わっています。

『作品』とは、制作者の血の滲むような努力の結果出来上がってきたもののイメージがあります。

確かに関わったスタッフ全員の才能や努力は必要です。

しかし一番重要なことは『商品』を通じて業務に携わっていただいた方々、
そしてなによりもユーザーの方々に喜んでいただくことだと信じております。

『日本一ソフトウェア』とはスタッフひとりひとりが誰にも負けない能力を持ち続け、
努力し続けるという意味で社名をつけました。

その能力を駆使し、努力を積み重ね、統合して、ユーザーはもちろんのこと、
流通や出版、そのほか当社グループの『商品』に関わった
多くの方々に喜んでいただいて、
はじめて『売上』『利益』が意味を成すものだと考えており、
スタッフおよび当社グループの繁栄に繋がるものだと考えております。



代表取締役 北角浩一

■ 当中間期の取組

■ コンシューマ事業（国内外向けに家庭用ゲーム機専用ゲームソフトの開発・販売を行う部門）

当事業におきましては、国内では他のゲーム開発会社との積極的な連携を図るとともに、社内における開発体制の強化を図ってまいりました。その結果、国内外合わせまして全9タイトル（廉価版2タイトル含む）を発売いたしました。また、好調な携帯型ゲーム機市場の状況を鑑み、これまで当社が柱としてきた据置型ゲーム機の商品のみならず、携帯型ゲーム機の商品の開発にも注力してまいりました。また、今後幅広いユーザー層に商品を提供していくべく、任天堂株式会社と『ニンテンドー DS』に関する製造委託契約を、マイクロソフト株式会社と『Xbox360』に関するパブリッシャーライセンス契約を締結し、様々なゲーム機で当社商品を展開するための準備を進めました。

海外市場におきましてはゲームソフトの販売と自社ライセンスゲームソフトのローカライズ版の制作を軸に、海外ゲーム市場の新たな需要の発掘を目指しました。

この結果、当事業全体におきましては、売上高は 833,342 千円（前年同期比 0.0%減）、営業利益 228,317 千円（前年同期比 19.5%減）となりました。

■ モバイル事業（携帯電話向けアプリゲームの開発・配信を行う部門）

当事業におきましては、顧客満足度を向上させるべく、平成 19 年 7 月に i モード向け携帯電話用公式サイト『日本一スタジオ』『マール王国物語』『デュオローグ』の3サイトを統合し、新たなアプリサイト『日本一 GAMES』をオープンさせました。同時に、当社のタイトルである PlayStation2 専用ソフト『流行り神 ～警視庁怪異事件ファイル～』を i モード向け携帯電話用アプリゲームとして配信し、当社コンテンツの拡充を図ってまいりました。その他、携帯電話用アプリの料金体系の充実や新規アプリの投入を随時行う等、サービスの向上を目指してまいりました。

この結果、当事業におきましては、売上高 38,574 千円（前年同期比 47.7%減）、営業利益△13,704 千円（前年同期は 38,015 千円の営業利益）となりました。

■ アミューズメント事業（アミューズメント機器の開発・販売及びアミューズメント施設の運営を行う部門）

当事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、業務用ゲーム機器『NETCAST とあみ』の販売とアミューズメント施設の運営をする他、業務用ゲーム機器の中古販売を行いました。

この結果、当事業におきましては、売上高 61,308 千円（前年同期比 469.8%増）、営業利益△24,270（前年同期は 9,894 千円の営業損失）となりました。

■ 当中間期に発売したタイトル

2007年4月24日 <北米>

Aedis Eclipse:
Generation of Chaos PSP



2007年4月12日

グリムグリモア

ジャンル：魔法ファンタジーRTS

2007年5月29日 <北米>

Atelier Iris 3:
Grand Phantasm PS2

2007年6月26日 <北米>

GrimGrimoire PS2



2007年7月1日

「日本-GAMES」
リニューアルオープン
(iモード)



2007年7月1日

流行り神 MOBILE
警視庁怪異事件ファイル
(iモード「日本-GAMES」内)



2007年7月5日

流行り神 PORTABLE
警視庁怪異事件ファイルThe Best Price
ジャンル：ホラーアドベンチャー

2007年8月21日 <北米>

Dragoneer's Aria PSP



2007年7月12日

魔界戦記ディスガイア2
PlayStation 2 the Best
ジャンル：シミュレーションRPG

2007年9月25日 <北米>

Soul Nomad & the World Eaters PS2



2007年8月23日

ドラグナーズアリア 竜が眠るまで
ジャンル：RPG

■ 今後の主な取組

以下の 2007 年 10 月 1 日以降に発売、配信する予定の商品ラインナップ

2007 年 11 月 15 日

流行り神 2

警視庁怪異事件ファイル

ジャンル：ホラーアドベンチャー



2007 年 11 月 29 日

魔界戦記ディスガイア
PORTABLE

通信対戦はじめました。

ジャンル：やり込みシミュレーション RPG



2007 年 10 月 17 日

「日本一 GAMES」

リニューアルオープン

(Yahoo! ケータイ)



2007 年 10 月 17 日

「デュオログ」配信

(Yahoo! ケータイ「日本一 GAMES」内)



2007 年 11 月 19 日

「流行り神 MOBILE」配信

(Yahoo! ケータイ「日本一 GAMES」内)



2008 年 1 月 31 日予定

魔界戦記ディスガイア 3

ジャンル：シミュレーション RPG



2008 年 2 月 28 日予定

トリノホシ

～ Aerial Planet ～

ジャンル：SF スカイアドベンチャー



2008 年 1 月予定

「久遠の絆 MOBILE 再臨詔（仮）」配信

(i モード「日本一 GAMES」内)



■ 中長期戦略

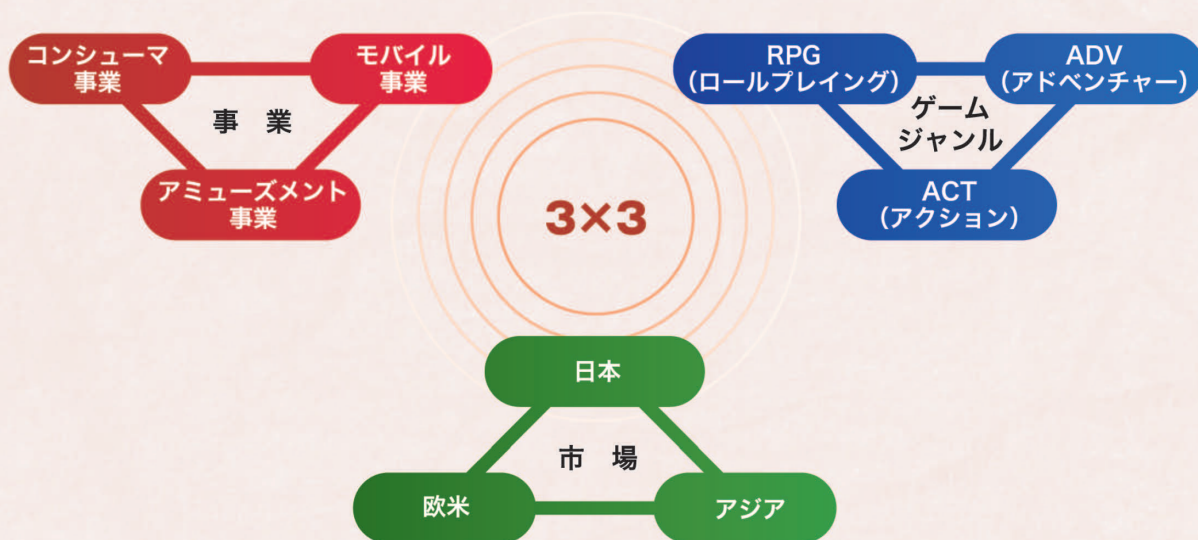
良質なオリジナルコンテンツ制作の展開

当社グループでは、今後もさらに厳しくなると予想される経営環境の中で、競合企業に対する優位性を確保し、持続的な成長を実現すべく、中期経営計画を策定しております。

当社グループ全体としての方針としましては、「良質なオリジナルコンテンツ制作の展開」を掲げております。良質なコンテンツを作ることにより、ゲーム以外にもアニメ業界、玩具業界等への展開を図ってまいります。また、日本国内だけでなく欧米やアジア市場へと積極的な進出等を行い、コンテンツ力を最大限に機能させられるような幅広い展開に取り組んでまいります。

3×3の展開

- 事業の3本化 コンシューマ事業、モバイル事業、アミューズメント事業の確立
- ゲームジャンルの3本化 RPG（ロールプレイング）、ADV（アドベンチャー）、ACT（アクション）の確立
- 市場の3本化 日本、欧米、アジアの確立



管理体制の充実展開

人事体制の構築・牽制機能の体制構築及びコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

営業体制の充実展開

新規顧客の開拓・開発側へのタイムリーなフィードバック体制の構築・コンテンツの有効活用を目指してまいります。

研究開発の充実展開

顧客ニーズに対応できる体制の構築・プロセスに重点を置き、効率的な開発体制の構築を目指してまいります。

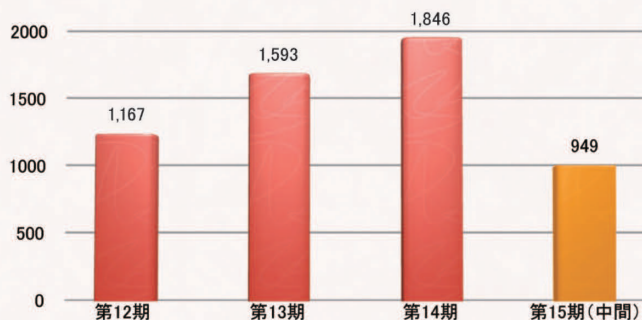


■ 中間決算のポイント

■ 連結財務ハイライト

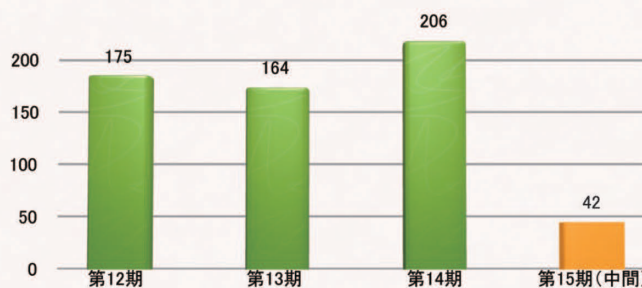
売上高

(単位：百万円)



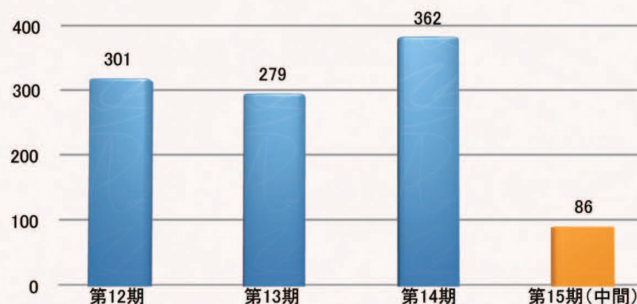
中間(当期)純利益(損益)

(単位：百万円)



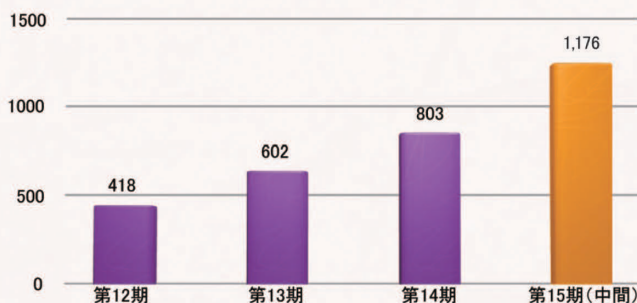
経常利益

(単位：百万円)



純資産額

(単位：百万円)



■連結財務諸表（要旨）

■中間連結貸借対照表

[単位：千円]

	前中間連結会計期間末 (平成 18 年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間末 (平成 19 年 9 月 30 日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成 19 年 3 月 31 日)
区分	金額	金額	金額
(資産の部)			
I 流動資産	1,070,370	1,375,515	938,629
II 固定資産			
① 有形固定資産	200,901	536,739	338,511
② 無形固定資産	18,224	66,079	46,076
③ 投資その他の資産	39,208	41,621	41,462
固定資産合計	258,334	644,439	426,050
資産合計	1,328,705	2,019,955	1,364,680
(負債の部)			
I 流動負債	506,331	478,325	510,803
II 固定負債	77,147	365,601	50,150
負債合計	583,479	843,926	560,954
(純資産の部)			
I 株主資本			
① 資本金	67,500	239,900	67,500
② 資本剰余金	57,500	229,900	57,500
③ 利益剰余金	612,751	711,432	673,055
④ 自己株式	—	△4,980	—
株主資本合計	737,751	1,176,252	798,055
II 評価・換算差額等			
① その他有価証券 評価差額金	9	△286	△87
② 為替換算調整勘定	7,465	62	5,757
評価・換算差額等合計	7,475	△224	5,669
純資産合計	745,226	1,176,028	803,725
負債純資産合計	1,328,705	2,019,955	1,364,680

■中間連結損益計算書

[単位：千円]

	前中間連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
区分	金額	金額
I 売上高	943,659	949,272
II 売上原価	356,852	506,927
売上総利益	586,807	442,345
III 販売費及び一般管理費	331,856	333,334
営業利益	254,951	109,010
IV 営業外収益	7,019	11,776
V 営業外費用	1,790	34,479
経常利益	260,179	86,308
VI 特別損失	14,801	14,064
税金等調整前中間（当期）純利益	245,378	72,243
法人税、住民税及び事業税	155,741	45,794
法人税等調整額	△56,646	△16,178
中間（当期）純利益	146,283	42,627



■ 中間決算のポイント

■

連結財務諸表（要旨）

■

中間連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：千円]

	前中間連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
区分	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	55,587	△15,246
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,786	△475,632
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,394	581,775
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	6,176	△12,696
V 現金及び現金同等物の減少額	△191,416	78,200
VI 現金及び現金同等物の期首残高	677,376	442,010
VII 現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	485,959	520,210



■

中間連結株主資本等変動計算書

[単位：千円]

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等 合計	
平成 19 年 3 月 31 日残高	67,500	57,500	673,055	—	798,055	△87	5,757	5,669	803,725
中間連結会計期間中の変動額									
新株の発行	172,400	172,400			344,800				344,800
剰余金の配当			△4,250		△4,250				△4,250
中間純利益			42,627		42,627				42,627
連結範囲の変更に伴う増減				△4,980	△4,980				△4,980
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△199	△5,694	△5,894	△5,894
中間連結会計期間中の変動額合計	172,400	172,400	38,377	△4,980	378,197	△199	△5,694	△5,894	372,302
平成 19 年 9 月 30 日残高	239,900	229,900	711,432	△4,980	1,176,252	△286	62	△224	1,176,028

■個別財務諸表（要旨）

■中間個別貸借対照表

[単位：千円]

区分	前中間会計期間末 (平成 18 年 9 月 30 日)	当中間会計期間末 (平成 19 年 9 月 30 日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成 19 年 3 月 31 日)
金額	金額	金額	金額
(資産の部)			
I 流動資産	617,235	960,020	627,451
II 固定資産			
① 有形固定資産	191,940	529,834	330,739
② 無形固定資産	7,421	39,094	36,816
③ 投資その他の資産	77,758	93,800	80,011
固定資産合計	277,119	662,728	447,568
資産合計	894,355	1,622,749	1,075,019
(負債の部)			
I 流動負債	258,653	285,758	381,618
II 固定負債	77,147	353,795	50,150
負債合計	335,801	639,553	431,769
(純資産の部)			
I 株主資本			
① 資本金	67,500	239,900	67,500
② 資本剰余金	57,500	229,900	57,500
③ 利益剰余金	433,544	513,682	518,337
株主資本合計	558,544	983,482	643,337
II 評価・換算差額等			
評価・換算差額等合計	9	△286	△87
純資産合計	558,553	983,196	643,249
負債純資産合計	894,355	1,622,749	1,075,019

■中間個別株主資本等変動計算書

[単位：千円]

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金合計	利益剰余金合計	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
平成 19 年 3 月 31 日残高	67,500	57,500	518,337	643,337	△87	△87	643,249
中間会計期間中の変動額							
新株の発行	172,400	172,400		344,800			344,800
別途積立金の積立て			—	—			—
剰余金の配当			△4,250	△4,250			△4,250
中間純利益			△404	△404			△404
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）					△199	△199	△199
中間会計期間中の変動額合計	172,400	172,400	△4,654	340,145	△199	△199	339,946
平成 19 年 9 月 30 日残高	239,900	229,900	513,682	983,482	△286	△286	983,196

■中間個別損益計算書

[単位：千円]

区分	前中間会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
金額	金額	金額
I 売上高	300,555	530,938
II 売上原価	33,586	264,693
売上総利益	266,969	266,244
III 販売費及び一般管理費	222,602	223,662
営業利益	44,367	42,581
IV 営業外収益	6,870	7,521
V 営業外費用	1,740	34,384
経常利益	49,497	15,719
VI 特別損失	14,801	14,064
税引前中間（当期）純利益	34,695	1,654
法人税、住民税及び事業税	31,812	368
法人税等調整額	△16,645	1,689
中間（当期）純利益	19,528	△404



■ 会社概要

英文商号 NIPPON ICHI SOFTWARE INC.
設立年月日 平成 5 年 7 月 12 日
本社所在地 〒504-0835
岐阜県各務原市那加雄飛ヶ丘町 17 番地 46
電話番号 058-371-7275
最寄の連絡場所 同上

役員構成 代表取締役社長 きたずみ こういち 北角 浩一
取締役 新川 宗平
取締役 佐藤 智洋
取締役 世古 哲久
常勤監査役 渡邊 克巳
非常勤監査役 河田 秀教
事業の内容 コンピュータソフトウェアの開発・製造・販売及びインターネットの接続代行業
業種別分類 / コード 情報・通信 / 3851
銘柄略称 日本一 S
資本金 239,900,000 円
従業員数 61 名 (2007 年 9 月末現在)

株式の状況

発行可能株式総数 68,000 株
発行済株式総数 21,000 株
株主数 1,737 名

株主名	合計所有株式数 (株)	持株比率 (%)
有限会社 ローゼンクイーン商会	7,867	37.46
北角 浩一	5,000	23.80
加藤 修	1,319	6.28
岐阜信用金庫	500	2.38
日本証券金融株式会社	291	1.38



■ 株主メモ・HPのご案内

■ 上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
■ 定時株主総会	毎年事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
■ 基準日	毎年3月31日（定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日）
■ 上場年月日	2007年6月13日
■ 発行済株式数	21,000株
■ 決算期	毎年3月31日
■ 単位株	1株
■ 公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 当社ホームページに掲載
■ 株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
■ 同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 TEL 0120-78-2031
■ 同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

<http://nippon1.jp/>

当社HPでは最新のゲーム情報をはじめ、最新動向、グッズの販売まで、随時更新しています。ぜひご活用ください。

<http://nippon1.mobi/>（iモード、Yahoo!ケータイ用サイト）

<http://studio.nippon1.co.jp/>（EZweb用サイト）

携帯アプリゲームから待受け画像・着信メロディーの配信等、携帯で日本一を楽しめます。

株主メモ・WEB サイトのご案内

- 上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金受領株主確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
- 公告掲載方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 同取次場所 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 TEL：0120-78-2031(フリーダイヤル)
中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内●

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

●上場株式配当等の支払いに関する通知書について●

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

<http://nippon1.co.jp>

当会社概要、IR 情報などを掲載しています。

<http://nippon1.jp>

当社 WEB サイトでは最新のゲーム情報をはじめ、最新動向、グッズの販売まで、随時更新しています。ぜひご覧ください。

<http://nippon1.mobi>

携帯アプリゲームから待受け画像・着信メロディーの配信等、携帯で日本一 GAMES、日本一アドベンチャーを楽しめます。